

第38回大阪病理技術研究会

プログラム

この度、「第38回 大阪病理技術研究会」を下記のとおり開催しますのでご案内いたします。今般増加傾向にある遺伝子検査について、各病院の意識調査や検査試薬のバリデーションから遺伝子検査の二次的所見、分子標的薬治療の実際や最新の造血器腫瘍遺伝子パネルなど、がんゲノム医療について幅広い知識の習得に役立つ内容となっています。

【行事名】 第38回 大阪病理技術研究会

【日 時】 2026年2月1日（日）13:00～17:00

【場 所】 住友病院

【定 員】 80名

【参加費】 日臨技会員、大臨技会員 1,000円（日臨技推進事業研修会のため）

地臨技会員のみ、非会員 2,000円

【クレジット】 日臨技生涯教育点数 専門 20点

認定病理検査技師単位（申請予定）

【プログラム】

開会の辞 13:00～13:05

第1部 13:05～14:15

講演1. 13:05～13:40

各病院における遺伝子検査についての調査結果（仮）

市立豊中病院 大仲 知子 技師

講演2. 13:40～14:15

コンパニオン検査の試薬開発

安必平（LBP SYSTEM） 朱 俊軒 講師

第2部 14:25～15:35

講演3. 14:25～15:00

がん遺伝子パネル検査における二次的所見の対応

大阪大学医学部附属病院 源幸 奈々 講師

講演4. 15:00～15:35

あなたの仕事が、がん薬物治療に活かされています

株式会社ケーエスケー 勝木 真由美 講師

特別講演 15:55～16:55

講演5. 造血器腫瘍遺伝子パネル検査からみる病理検査の役割

日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院 郡司 昌治 技師

閉会の辞 16:55～17:00